

2009年度研究業績一覧

2009.4～2010.3

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
天野宏司 (准教授)	著作	『首都圏Ⅰ』（日本の地誌 第5巻）	[分担執筆：Ⅱ. 首都圏の地域性 2. 歴史的背景 pp.37-49. 2) 近代, Ⅲ. 首都圏の地域誌 東京都 B. 東京多摩の地誌 1) 武蔵野地域)pp.213-259]	2009. 04
	論文	スポーツイベントの創出と観光振興に関する研究—スポニチ佐渡ロングライド210を事例に—	文化情報学16 (2), 35-52	2009. 12
		サイクルトレインの成立と展開—秩父サイクルトレインの分析を通じて—	駿大論叢39, 161-182	2010. 01
		「郵便線路図」による公権力の国土空間の把握について	平成17年度～平成19年度科学研究費補助金 基盤研究 (B)「公権力の空間認識に係る近代歴史地理学的研究」(研究課題番号17320130) 研究成果報告書	2009. 07
	書評	新潟市歴史博物館編：『蒲原平野の20世紀—水と土の近代—』	歴史地理学51 (5), 52-54	
	調査報告書	天野宏司研究室編『2009スポニチ佐渡ロングライド210調査報告』		2009. 07
		天野宏司研究室編『佐渡ヒルクライム2009調査報告』		2009. 12
		天野宏司研究室編『輪行サイクリング in 秩父アンケート報告書』	秩父サイクルトレイン実行委員会	2009. 12
		天野宏司研究室編『第4回秩父サイクルトレインアンケート報告書』	秩父サイクルトレイン実行委員会	2010. 01
	学会発表	ロケ誘致による観光資源開発と持続的利用—世界の中心で、愛をさけび続けられるか？	日本地理学会 秋季大会 (琉球大学)	2009. 10
		皆既日食観測者の受入と観光行動—鹿児島県大島郡喜界町を事例に—	人文地理学会 大会(名古屋大学)	2009. 11
	講演	自転車を活用した観光の可能性について～秩父の希望と現実～	財団法人 秩父地域地場産業振興センター	2010. 02
	研究テーマ	人文地理学・観光地理学		
石田栄美 (准教授)	論文	“Translation disambiguation for cross-language information retrieval using context-based translation probability” (共著)	Journal of Information Science, Vol.35, No.4, p.481-495	2009. 08

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
今村庸一 (教授)	学会発表	人の価値観を表すカテゴリを対象にした複数カテゴリへの自動分類の試み (共著)	文化情報学: 駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No2, p.53-68	2009. 12
		“Non-topical Classification for Healthcare Information”	The Doctoral Consortium of the ACM/IEEE Joint conference on Digital Libraries, Bulletin of IEEE Technical Committee on Digital Libraries, Vol.5, No.3, Winter2009	2009. 06
		“Analyzing OPAC use with screen views and eye tracking” (共同発表)	ACM/IEEE Joint Conference on Digital Libraries (JCDL09), p.405, Texas, USA	2009. 06
		人の価値観を表すカテゴリを対象にした自動分類 (共同発表)	第57回日本図書館情報学会研究大会発表要綱, p.33-36, 於明治大学	2009. 10
		“Automatic Classification of Human Values: Applying Computational Thinking to Information Ethics” (共同発表)	Annual Conference of the Association for Information Science and Technology, Vancouver, Canada	2009. 11
	その他	“Values of Stakeholders in the Net Neutrality Debate: Applying Content Analysis to Telecommunications Policy” (共同発表)	43rd Hawai'i International Conference on System Sciences, Kauai, HI, USA	2010. 01
		リサーチトーク「The research using eye-tracking data」	米国ルイジアナ州立大学図書館情報学科における研究会	2009. 04
	研究テーマ	テキスト自動分類 眼球運動データを用いた OPAC の探索行動		
	研究テーマ	映像ジャーナリズム論、映像と国際関係論		
	岩熊史朗 (教授)	学会発表	パーソナリティの認知過程 (6) 一 根拠情報とパーソナリティ判断との関係一	日本パーソナリティ心理学会第18回大会発表論文集, 194-195.
研究テーマ		パーソナリティの認知過程 意味の成立過程		
大久保恒治 (准教授)	研究テーマ	文化情報の可視化、日本における文化・芸術の需要動向について、文化情報資源の動的活用		
大久保博樹 (准教授)	著書	わかる行政書士予想問題集 平成21年度 分担執筆 (情報分野担当 pp.406-421)	住宅新報社	2009. 04
	論文	デジタル映像・音響情報の活用と発信一情報配信と学生のスキル向上のための実践教育一 (最終報告、共著)	駿河台大学文化情報学部紀要 第16巻第1号 (2009) pp.15-31	2009. 06

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
岡部 建次 (教授)		アナログ効果音のデジタルアーカイブ化 (共著)	跡見学園女子大学紀要『コミュニケーション文化』vol.4, pp.45-53	2010. 03
	講演	特別講演「人の手による音響効果の実際と意義」	シンポジウム「デジタル映像時代に再評価されるアナログ効果音」～ドラマや芝居の臨場感を演出する音の技法をいかに残すか～(駿河台大学「デジタル映像時代に再評価されるアナログ効果音」シンポジウム実行委員会)	2010. 02
	研究テーマ	映像と音響のマルチモーダル、デジタルコンテンツとIT(教育と利活用)		
	学会発表	鉄道走行を利用する磁力発電	日本生産管理学会中部支部大会・標準化研究学会 椛山女子大名古屋	2009. 07
		トヨタの赤字の研究(共同発表)	日本生産管理学会第30回全国大会講演論文集 愛媛大学 松山	2009. 09
加藤 修子 (教授)	著書	生物を模倣する遺伝子プログラムによる身体部位ロボット・人工生命の作成	日本生産管理学会第31回全国大会 北海道大学	2010. 03
	研究テーマ	ITの知識と操作 改訂第4版 基礎編(共著)	創泉堂出版	2009. 04
	研究テーマ	鉄道走行を利用した磁力発電 遺伝子を模したプログラムによる最も単純な生物ファイトプラズマの人工化 表計算ソフト上の遺伝的アルゴリズムシステム・エージェントシステム		
	論文	博物館のサウンドスケープ・デザイン 博物館の立地環境と展示の関係:「十和田市現代美術館」と「青森県立美術館」を中心に	文化情報学: 駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No1, p.1-13	2009. 06
		博物館のサウンドスケープ・デザインにおける「音声ガイド」の考察	文化情報学: 駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No2, p.1-19	2009. 12
金 容 媛 (教授)	研究ノート	博物館のサウンドスケープ・デザイン: 瀧廉太郎記念館: ケーススタディ (3)	文化情報学: 駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No2, p.69-76	2009. 12
	寄稿	ブルガリア文学『軛の下で』を読んで	ソフィアファミリー(外務省認定事業推進団体) ホームページ	2009. 07
	研究テーマ	文化情報施設のサウンドスケープ・デザイン		
	研究ノート	図書館・文書館・博物館における連携の動向	文化情報学: 駿河台大学文化情報学部紀要, 第16巻第1号, p.33-43	2009. 06

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
久我 晃 広 (准教授)		透明性、グッド・ガバナンス、政治腐敗からの自由に関する国際図書館連盟の宣言	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要、第16巻第1号、p.45-47	2009. 06
	発表	図書館・文書館・博物館の連携に関する最新の動向	駿河台大学文化情報学研究所小研究会 発表, 梗概 (3p)	2009. 07
	講演	公開討論会 パネリスト：日本のMLA=M(useum)、L(ibrary)、A(rchives) の連携の方向性を探るラウンドテーブル	特定非営利活動法人 知的資源イニシアティブ (IRI) 主催	2009. 10
	研究テーマ	図書館情報政策、図書館・情報センター管理、情報専門職の教育・養成		
	講習会	「個人技能」	平成21年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技	2009. 07
		「個人技能の指導」	平成21年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技	2009. 07
		「競技力（国内・国際）の情報収集と分析・活用」	平成21年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技	2010. 01
		「ゲームの分析とその実際」	平成21年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技	2010. 01
	講演	公開講座「子どものためのホッケー教室」	駿河台大学公開講座	2009. 11 2009. 12
	その他	第5回東アジア競技大会 第3位 ホッケー（女子）日本代表チームコーチ	中華人民共和国 香港特別行政区	2009. 12
	研究テーマ	ホッケー競技におけるゲーム分析		
小林 侅 史 (教授)	研究テーマ	パーソナル・コンピュータ利用技術の普及		
斎賀 和彦 (准教授)	著書	Canon EOS 5D Mark II 完全読本（共著）分担執筆：HD 動画撮影パート HD 動画編集パート RAW 現像ソフトパート	アスキーメディアワークス	2009. 01
		ブルーレイ オーサリング（共著）分担執筆：Final Cut Pro から BlureRay 作成のワークフロー	玄光社	2009. 02
		iLife 09 + iTunes 8 スターターブック 保存版（共著）分担執筆：iMovie パート iDVD パート	アスキーメディアワークス	2009. 03

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
R. Sawazaki (准教授)	講演	EOS Kiss ユーザーのためのデジタル一眼レフ入門(共著) 分担執筆: HD 動画の撮影、閲覧、編集	アスキーメディアワークス	2009. 07
		デジタル一眼レフムービー完全攻略(共著) 分担執筆: EOS 5D Mark II の編集ワークフロー	玄光社	2009. 08
		GoodsPress インタビュー: 映像のプロも舌を巻く iMovie の超速編集力	徳間書店	2009. 12
		コマースシャルフォト Monthry ProPhoto 40 デジタル一眼レフ動画	AppleStore 銀座シアター	2009. 02
		デジタル一眼レフ動画と Final Cut Pro	AUGM 宮崎, 宮崎産業経営大学	2009. 11
	その他	パネリスト、パネルディスカッション「デジタル時代のアナログ効果音とその伝承」	シンポジウム「デジタル映像時代に再評価されるアナログ効果音」～ドラマや芝居の臨場感を演出する音の技法をいかに残すか～(駿河台大学「デジタル映像時代に再評価されるアナログ効果音」シンポジウム実行委員会)	2010. 02
	研究テーマ	デジタル映像時代のコンテンツ制作ワークフロー		
	論文	「Parental Involvement in Language Learning (PILL)」	Teachers Learning with Children, The Newsletter of the JALT Teaching Children SIG (全国語学教育学会児童語学教育部会), vol.14, no.1, pp2-14	2009. 04
		「School Involvement in Language Learning (SILL): Coordinating a Cooperative English Pre-school Program」	Teachers Learning with Children, The Newsletter of the JALT Teaching Children SIG (全国語学教育学会児童語学教育部会), vol.14, no.2, pp2-13	2009. 08
	その他	「外国語を習得する技術をわが子に与えるためのヒントとアドバイス」	群馬県の学び大図鑑2009, pp56-57	2009. 04
杉江典子 (准教授)	研究テーマ	英語教育: 外国語教育法と教材開発、異文化理解とコミュニケーション、バイリンガル教育		
	著書	情報アクセスの新たな展開(共著: 米図書館協会による“reference transactions”の定義改訂とその背景)	日本図書館情報学会研究委員会編. 勉誠出版, p.157-173, (シリーズ図書館情報学のフロンティア, 9).	2009. 10
		新訂情報サービス論. (共著: 第1章図書館の情報サービス, 第5章情報探索・利用環境の整備)	東京書籍, p.10-34, p.129-140.	2010. 03

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
瀬戸純一 (教授)	書評	課題解決型サービスの創造と展開	日本図書館情報学会誌, Vol.55, No.3, p.197-198.	2009. 09
	講演	情報探索行動からレファレンスサービスを考える	参考調査研修会全体研修会講演 (平成21年度埼玉県図書館協会 公共図書館部会)	2010. 03
	研究テーマ	公共図書館におけるレファレンスサービス, 公共図書館における利用者の情報探索行動, 市民への健康情報提供		
	研究テーマ	マスメディア、ジャーナリズム		
高橋豊美 (教授)	講演	Contrastive phonetics of Japanese and English.	UCL Summer Course in English Phonetics.	2009. 08
		発音で覚える使える英語・使いたい英語。	駿河台大学公開 講座「楽しく学ぶ英語」.	2009. 09
	研究テーマ	音韻論・音声学		
塚本美恵子 (教授)	論文	デジタル映像・音響情報の活用と発信—情報配信と学生のスキル向上のための実践教育—最終報告—(共著)	文化情報学, 第16巻第1号, 駿河台大学 メディア情報学部, p15-31	2009. 06
	学会発表	博物館ビデオ教材の開発と公開 (共同発表)	第16回日本教育メディア学会年次大会, 第16回日本教育メディア学会年次大会発表論文集 p107-108	2009. 09
		映像デジタルコンテンツの制作と配信で獲得する「多様な視点」と「達成感」	平成21年度 全国大学IT活用教育方法研究会発表会, 平成21年度 全国大学IT活用教育方法研究会発表会 予稿集 P42-43, 社団法人私立大学情報教育協会主催	2009. 07
		異文化間教育を目指した映像(メディア)教材の活用と教育実践の共有(その2)	異文化間教育学会大会, 2009年度異文化間教育学会第30回大会 発表抄録集 p102-103	2009. 05
	講演	メディアの正しい読み取り方~ちょっとはテレビを疑おう!~	入間市消費生活講演会	2009. 07
	その他	TBS「レビュー」にゲストコメンテーターとして出演		2009. 07
	研究テーマ	異文化間教育におけるメディア教材開発と実践、メディアリテラシー		
寺嶋秀美 (准教授)	論文	デジタル映像・音響情報の活用と発信—情報配信と学生のスキル向上のための実践教育—(最終報告)(共著)	文化情報学: 駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No.1, p.23-24	2009. 06

2009年度研究業績一覧

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
杜正文 (教授)	研究テーマ	コンピュータネットワークと分散管理		
	論文	デジタル映像・音響情報の活用と発信—情報配信と学生のスキル向上のための実践教育—(最終報告)(共著)	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No1, p.21-22	2009. 06
	講演	クラウドコンピューティングの現状	文化情報学研究所・小研究会	2009. 12
野村正弘 (准教授)	研究テーマ	ユビキタス・ネットワーク社会の可能性、教育支援システムの開発		
	論文	デジタル映像・音響情報の活用と発信—情報配信と学生スキル向上のための実践教育—(最終報告)(共著)	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No.1, 15-31.	2009. 06
		携帯電話で使うインタラクティブ野外観察ガイドの開発(中間報告)(共著)	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No.2, 21-34.	2009. 12
		アナログ効果音のデジタルアーカイブ化(共著)	跡見学園女子大学紀要コミュニケーション文化, vol.4, 45-53.	2010. 03
	学会発表	千葉県木更津市南部に分布する下総層群木下層の有孔虫化石	日本地質学会関東支部 第3回研究発表会(関東の地質講演資料集, 2009, 43-45.)	2009. 06
		博物館学ビデオ教材の開発と公開	第16回日本教育メディア学会年次大会(第15回日本教育メディア学会年次大会発表論文集, 107-108.)	2009. 09
	講演	地球—過去と未来—	2009年度駿河台大学公開講座「彩・ふるさと喜楽学」	2009. 09
	特別講演「アナログ効果音をデジタル技術で保存活用する」、パネルディスカッションパネラー「デジタル時代のアナログ効果音とその伝承」	シンポジウム「デジタル映像時代に再評価されるアナログ効果音」～ドラマや芝居の臨場感を演出する音の技法をいかに残すか～(駿河台大学「デジタル映像時代に再評価されるアナログ効果音」シンポジウム実行委員会)	2010. 02	
その他		白井北中道Ⅲ遺跡(2) 石材鑑定	国土交通省・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	2009. 07
		地域博物館との連携展示「祭～お囃子の響く場所～」	飯能市郷土館	2009. 09
	研究テーマ	自然系博物館の展示・研究・教育、地域の自然		

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
波多野 宏之 (教授)	著書	Encyclopedia of library and information sciences. 3rd ed. 7 vols. (Bates, Marcia J. (editor-in-chief) 分担: Japan: Libraries, archives and museums: Vol.4, pp.3042-3059 共著)	CRC Press	2010
	学会発表	JADS: 最初の10年。第4回アート・ドキュメンテーション研究フォーラム シンポジウム「日本のアート・ドキュメンテーション—20年の達成と JADS」(パネリスト)	アート・ドキュメンテーション学会 (東京国立博物館)	2009. 12
	講演	美の記憶—展覧会図録を楽しむ—その1-2。	第13回豊岡ブチ大学第4回 (駿台ふれあいハウス)	2009. 07
	その他	1921年のフランス同好会 (小林茂氏講演会報告)。	日仏会館図書室友の会通信. 第12 (最終) 号, pp.8-9.	2009. 03
		日仏会館図書室友の会、解散 講演会等の活動は学会で継承へ。	日仏図書館情報学会ニュースレター. No.187, pp.3-4.	2009. 04
		文化情報学とアート・ドキュメンテーションの教育 1 (教育の現場 3 駿河台大学・波多野ゼミ)。	アート・ドキュメンテーション通信. 81号, pp.11-12.	2009. 04
		40周年を迎えるにあたって。	日仏図書館情報学会ニュースレター. No.188, p.2.	2009. 07
		日露野先生を偲ぶ。	日露野さん、『日露野さん』刊行委員会, pp.18-19.	2010. 03
	研究テーマ	アート・ドキュメンテーション、文化環境の日仏比較		
広瀬 順皓 (教授)	著書	「田健治郎日記 下巻」(共著)	中央研究院台湾史研究所 (台湾)	2009. 12
	研究発表	在日台湾関係史料	第6回台湾総督文書講習会	2009. 09
	その他	対談「日本近代史の史料をめぐって」対談者: 柴田紳一	「日本近代史研究」, 柴田紳一著	2009. 09
		対談「新史料スクープ競争は不毛だ」対談者: 柴田紳一	「日本近代史研究」, 柴田紳一著	2009. 09
	研究テーマ	近代日本における官僚と政治		
福永 昭 (教授)	著書	『改正旅行業法・約款問題研究 [新版]』	五絃舎	2009. 12
	講演	「なぜ観光地は老化するのか? ~飯能・名栗地域における観光と保全~」	エコツアーガイド・ステップアップ研修会 (主催者: 飯能市)	2009. 10
	研究テーマ	旅行管理者教育、観光による地域開発		

2009年度研究業績一覧

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
間島貞幸 (講師)	研究ノート	大学における映像制作実習とメディア・リテラシー教育の実践 ～人間活性化プロジェクト「発見! 駿大いるプロ情報局」活動報告～	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要, Vol.16, No.2, pp77-84.	2009. 12
	講演	テレビの見方	駿河台大学公開講座 彩・ふるさと喜楽学	2009. 04
	研究テーマ	映像教育、放送メディア分析		
丸山裕孝 (准教授)	講演	ウェブデザインをひもとく	駿河台大学 秋の公開講座 市民の大学Ⅳ —デジタルメディア時代の歩き方—	2009. 11 2009. 12
	研究テーマ	金属工芸、現代美術、インタラクティブメディア		
村越一哲 (教授)	論文	旗本の出生力再検討	人口学研究 (日本人口学会), 第44号, pp.19-32.	2009. 05
		表計算ソフトを利用した史料目録 EAD 化のためのツール	国文学研究資料館 (アーカイブズ研究系編), 『アーカイブズ情報の共有化に向けて』, 岩田書院, pp.263-279.	2010. 02
	学会報告	1930年代の農村における育児と乳児死亡	社会経済史学会 (第78回全国大会 於東洋大学)	2009. 09
	研究テーマ	近代における mortality と女性労働 江戸時代の武士人口と官僚制 インターネット上での記録史料情報の共有化		
門馬幸夫 (教授)	研究テーマ	文化の観念と差別の社会学的研究 ユルゲン・ハーバーマスの研究		